

様式第4号（第5関係）

活動結果報告書

30年 1月 25日

越前市議会

議長 前 田 一 博 殿

議員氏川崎 悟司



下記のとおり報告します。

日 程 30年 1月24日(水曜日)～ 1月25日(木曜日)

活動先 参議員会館、浜松市・地域の茶の間「てまえみそ」

活動目的 ソーシャルビジネスの現状と今後について

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

24日は、経済産業省地域産業基盤整備課課長補佐、松本将明氏からソーシャルビジネスについての説明を受けた。ソーシャルビジネスもコミュニティビジネスも、社会的課題を解決するために、ビジネス手法を用いて、新しいビジネス手法を考案し、適用していくもの。1)社会性2)事業性3)革新性を満たすものとして、新しい社会的価値を創出するものとして住民の能力や思いを行政と形あるものとしていく新しい手法とのこと。

高木毅衆議院議員、滝波宏文参議院議員に、越前市の諸課題について意見交換及び地方創生推進交付金に関する要望書を提出した。

25日は、浜松市の地域の茶の間「てまえみそ」を訪問し、代表の富田久恵氏から、設立から今日までの様々な経過を聞いた。ランチをはじめフォークカフェ、歌謡サロン絵手紙教室など地域住民のたまり場的な交流の場となっている。補助金なしの中でしっかり運営している点は評価したい。越前市でも、お年寄りや子供などのたまり場づくりの事例として活かしていきたい。

誠和会・政新会合同研修会

2018年1月24日25日

1月24日(水)朝 7時30分 JR武生駅集合
7時52分発 しらさぎ54号 ひかり512号
11時10分 東京駅着
11時50分 参議院会館 滝波事務所 磯村秘書
12時～13時 参議院会館食堂 昼食・休憩
13時～14時20分 研修会 会館内会議室103号室
講師 経済産業省課長補佐 松本将明氏
「コミュニティビジネスとソーシャルビジネス」
14時30分 参議院会館 滝波参議院議員への要望活動
15時～15時30分 衆議院会館 高木衆議院議員への要望活動
17時 マロウドイン赤坂 チェックイン
18時 夕食・懇親会 ホテル内の中華料理店
ゲスト 滝波先生、高木先生

1月25日(木)朝 7時30分 朝食
8時20分 ホテル出発 東京駅
9時03分発 ひかり465号
10時31分 浜松駅着
10時45分～ コミュニティ・レストラン視察研修
「てまえみそ」富田久恵代表
12時30分 浜松駅構内にて昼食
14時36分発 ひかり471号 浜松
15時19分発 ひかり513号 名古屋11分待 16番線着 17番線発
15時56分発 しらさぎ9号 米原 12分待ち
16時46分着 武生駅
解散

発行
越前市議会
政新会

議員 城戸茂夫 2面
川崎悟司 3面
安立里美 4面

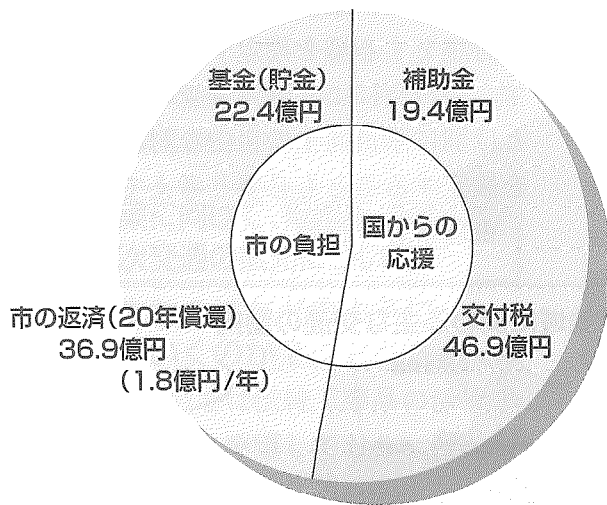
私たちは会派「政新会」を結成し
将来子どもたちが明るい
心豊かな未来を築けるよう
市民の代表として頑張ります

市議会報告 vol.9
政新会だより

半世紀に一度のまちづくり!!

実質36.9億円を20年で償還! 財政的には大丈夫です

新庁舎建設79.6億円+中央公園整備16億円+新体育館建設30億円
主要3施設の合計125.6億円



※市の返済36.9億円+交付税46.9億円=市債83.8億円

いわゆる借金である市債のうち、普通交付税により措置される有利な市債を活用することにより、実質的な償還額は抑えられることとなります。市債83.8億円のうち、償還額は実質36.9億円となり、20年で償還すると、本来1年あたり約4.2億円の返済のところ、1年あたり約1.8億円で済み、健全財政が維持されていきます。



子どもや友だちに「帰っておいで」といえるまちに...

議会報告会を開催



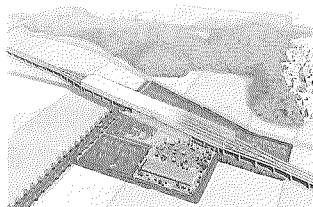
「3人と話ろう! これからの越前市」をテーマに政新会の議会報告会が、2月12日(日)に越前市文化センター小ホールで開催された。1部では「新幹線の駅周辺整備基本構想」、2部では「新庁舎建設基本構想」について市幹部による講演がそれぞれあり、特に本庁舎イメージ動画は大画面の迫力と実際に内部を見学しているような体験型であった。180名を超える参加があり、市民の皆さんからは貴重な意見・質問等をいただくなど、盛況のうちに終了した。

体験動画

第1部 あと6年! 開業せまる新幹線

講師: 越前市企画部特命監 吉村裕寿氏

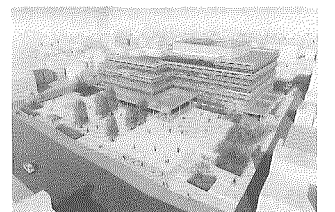
- 丹南の玄関口としての大規模駐車場
- 国道8号線が近い「道の駅」
- インターチェンジはどう変わるの?
- 新幹線の利便性、速達性、料金は?
- 特急はどうなるの? 在来線は便利?



第2部 ひと足早く 新庁舎の中をのぞいてみませんか

講師: 越前市企画部審議監 浅野忠憲氏

- 市役所は何階建てになるの?
- 市民ホールや議会はどこに?
- 庁舎前が大きい広場に
- 駐車場は増えるの?
- 駅前・市役所通りはどのように?



城戸茂夫

議員協議会で議会の活性化を図ります!!

市民の多様な声を代表する議員が市政全般について自由に討議し、地域の意思決定を行っていく場を定期的に開いています。

良い質問が活かされるとは限らない

現在の地方議会では、議案（予算、条例）について質疑を中心に審議を行い、行政職員に対して質問をすることが主になっています。これは賛否の意見の表明ではなく、内容についての疑問を質すことが趣旨であり、採決の前に行われる「討論」も、賛成か反対か、どちらかの立場に立っての発言です。議会活動のもうひとつの軸となっているのは、代表質問、一般質問という「質問」の時間です。これは会派を代表して、あるいは議員個人として、市政全般に関する事項について質問することで、議員による政策提案などの内容を含むことは多いのですが、市側の方向と合わなければ、議員個人の意見に止まり「議会の意思ではありませんね」ということで、良い質問をしても活かされないこととなります。

機関としての議会の意思を示す

これまで議員同士の討議はあまり行われてきませんでした。民主主義の広場としての代表機関の役割を考えると、市民の多様な意見を代表する議員が、相互に自由な立場で討議し、争点を明らかにし、意見の相違や共通点を確認し、よりよい結論に至る場としての議員協議会はとても重要です。これを市民の目の届く公開の場で行うことができれば、議会はより活性化していくと思います。

議会があることによって、自治体運営に何が加えられたのか

議員同士の討議があまり行われないひとつの理由は、議案のほとんどが理事者提案であり、提案者（理事者）との間のやりとりが中心にならざるを得ないということにあります。



議員による提案が増えると、自ずと議員同士で討議をしなければならなくなります。また、議会日程の中に、議員同士が討議をする場を設定することも必要です。委員会による議案審査の中に、質疑とは別に議員同士の自由な討議を行う場を設定することも必要と考えています。

※理事者＝行政

広域観光の推進に向け

周遊・滞在型観光推進計画の策定、平成29年度～34年度の6年間の計画

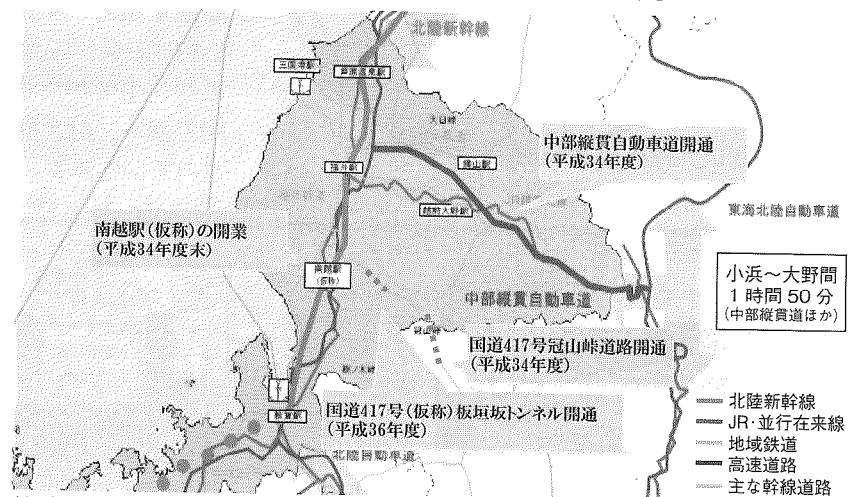
丹南地域の5市町（鯖江市、越前市、池田町、南越前町、越前町）が連携し、広域的な観光エリアを創出し、さらなる誘客や観光消費額の拡大を図るため、越前市が事務局を担います。今回、上越妙高・丹後宮津等の観光圏整備計画の研究を通して、周遊・滞在型観光推進計画の策定に、丹南広域組合議長として協力しました。

丹南地域の観光の特性

観光客数は増加傾向にあり、年間591万人が訪れています。県外観光客は関西、中京方面が多く、中京方面の観光客は日帰りが多い状況。また、県外観光客の85%が自家用車を利用。

越前ならではの「本物の体験の追及」を観点に、伝統工芸の美技、海の歴史・文化と暮らし、宿場町・寺内町の歴史・文化と暮らしなどのテーマごとに具体的な取り組み内容や交通・宿泊・プロモーション戦略を立てると共に、モデルコースを設定し、平成34年度の観光客入込数700万人の達成を目指します。

丹南地域に関わる主な交通の動向



(出所) 福井県「福井県高速交通開通アクション・プログラム」をもとに作成

丹南地域を取巻く主要交通の動向

- 北陸新幹線の南越駅（仮称）開業 … 平成34年度末（予定）
- 国道417号（冠山峠）トンネル開通 … 平成34年度（予定）
- 中部自動車道の岐阜～大野間開通 … 平成34年度（予定）

きどコラム

政務活動費の不正受給が問うているもの

昨年、富山市議会（定数40名）うち13人の議員が政務活動費の不正受給を認めて議員辞職した。マスコミが大きく取り上げ社会問題となったことは議会改革に取り組んでいる越前市議会としては残念な事件であった。

政務活動費について改めて考えると、今問題とされているのは白紙領収書を使った架空請求や領収書の偽造、開催していない報告会による不正受給等である。研修会参加や図書購入など政務活動費は収支報告が整っていれば問題とされて来な

った。しかし、研修会では居眠りしている議員は多いし、書籍は飾っておくだけで読まなければ意味が無い。本当の問題はここにあると思う。

政務活動費、そしてその前身の政務調査費の本来の目的とした成果はあがっていると言い切れるのか不安である。具体的な政策について調査した、研究した、勉強したことで「このような政策を提言することができた」「このような政策的条例を成立させた」という業績に繋げていく責務があると考えている。



川崎さとし

30年以降の減反政策の見直しに 対する市の取り組みは？

農家の将来への不安や課題解消が
急務である。

農業集落の高齢化や混在化に伴う集落機能の脆弱化や社会資本整備投資の減少が、農業農村に大きな影響を及ぼすと予想されている。米価の下落、後継者不足、獣害被害の拡大など取り巻く環境は厳しさを増してきている。農業収入の最大化とともに、農地の適正な利用を考え、コメの数量と転作作物のベストミックスをどう試算するのか。

[理事者答弁] 長年の販売戦略により数量は確保しているが、更に関係機関との連携を深め持続可能な農政を目指していく。

新幹線開業に向けて、南越駅、道の駅の 整備と二次交通の拡充について

越前市のまちの核をどのように
位置づけていくのか？

南越駅については伝統工芸品の活用を鉄道・運輸機構に要望しており、道の駅では伝統産業に触れ合える機能を取り入れるとしているが、本市の歴史・文化の薫り、例えば紫式部像などをアピールすることも一案と考える。周辺整備においては、600台の駐車スペースの確保とイベントや防災への利活用も重要といえる。南越駅（仮称）と武生駅を結ぶ二次交通の重要性及び、リニア開業を見据え名古屋（中京地域）へのアクセスの拡充についても幅広い議論が必要といえる。

[理事者答弁] 小浜・京都ルートが決定し、名古屋へのアクセスを維持するために特急しらさぎなどの存続に向け活動していく。丹南地区の玄関口として交通の結節点として機能の拡充に努めていく。

原発事故を想定した 避難訓練について

市民の「生命」をどう守るのか、
フクシマの教訓を生かせ！！

高浜原発での過酷事故を想定した県原子力防災訓練が8月27日、28日行われ、小浜市からの避難者の受け入れ、避難所開設運営訓練が行われた。職員の配置、受入手順、小浜市との連絡体制、避難所や駐車場の誘導など多くの課題が見られた。受入マニュアルや避難所運営体制、石川県及び県内の126施設の様況や道路事情、連絡体制など日頃からの意識の徹底が大切である。避難場所の県立高校の資機材、食料などの早急な整備が必要である。住民目線で大掛かりな訓練を少しずつ厳しい設定に変えながら継続していかなければならない。

[理事者答弁] 国、県及び関係機関と協議を重ね、各種研修会を含め、マニュアルの作成、充実を図り、広く周知していく。



県原子力防災訓練視察（美浜町）

増加する空き家対策について

空き家対策特別措置法の制定を踏まえ
解消に向けて取り組むべき。

全国で2033年には3件に1件が空き家となる事態が予測されている。地域コミュニティの崩壊や治安の悪化、まちづくりの障害となっていく可能性がある。市では、空き家条例を制定し、管理や利活用などの取り組みを実施してきた。個人の財産権という大きな壁があり、思うように進まなかったのも事実である。



国は空き家対策特別措置法を成立させ、私権に踏み込めるようになり、解消に向けての取り組みが始まったといえる。解体し更地にすると固定資産税の6分の1と都市計画税の3分の1減税がなくなるという税制の問題もある。

[理事者答弁] 特措法に基づく空き家等対策協議会及び市内推進会議を設置し体制を整えた。29年4月より税制の緩和も実施していく。

新庁舎建設と第3期中心市街地 活性化基本計画について

ネットワーク型コンパクトシティを
目指した取り組みとは？

まちの“顔”というべき庁舎を市民が誇りに思い、長く親しまれる庁舎を建設すべきである。都市機能や居住地域をコンパクトにまとめる行政効率の良いまちづくり政策が各地で進められているが、明確な「成功」の声が聞こえてこないのか。センチュリープラザやアルプラザ平和堂との契約が平成31年に満了する。シンボルロード「越前国府1300年の歴史と文化が薫る安らぎのみち」を含めた、本市らしいまちをどう創造するのか。

[理事者答弁] 実効性の高い計画とするため、民間と行政が連携し、着実に事業を展開し、賑わいの創出や定住化に向けての取り組みを推し進めたい。

さとしコラム

議会運営委員長として、奮闘中！！

私は、平成28年8月より委員長に就任している。この議会運営委員会（議運）というのは、一定の部門の事務に関する調査及び議案、請願等の審査を行う常任委員会や、特定の付議事件の審査のため臨時に設けられる特別委員会とは違い、円滑な議会の運営を期すため、議会運営の全般について協議し、意見調整を図る場として設置された委員会である。

①議会の運営に関する事項、②議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する規則、③議長の諮問に関する事項について調査を行い、議案、請願等を審査するというのが主な職務である。

併せて、議会活性化への取り組みに関する事項を議長より諮問されている。メンバーは各会派より選出され、2名で1人、あと3名毎に1人選出し、5会派7名で構成されている。

議会ごとに様々な案件が生じ、緊張の日々ではあるが、この経験が自身の成長と今後の糧になると考える。地方分権改革やその他の制度改革がさらに進み、新たな法律の制定や関係法律の改廃が行われ、自治体をめぐる制度環境はめまぐるしく変化している。

市民に開かれた議会、期待される議会となれるよう「チーム越前市議会」を目指して全員で議論と研鑽を重ねていきたい。

安立さとみ

菊人形入場券の廃止を提案

29年の夏には市民の広場や文化ゾーンのエントランスが完成する。菊人形開催時に会場を切ることは不可能ではないか。

武生中央公園は平成30年の福井国体に向け、体育館新設やその他施設整備が進められ、29年夏には完成する。菊人形開催時に有料ゾーンと無料ゾーンを分けることには無理がある。今年度中学生以下を無料にしたことで入場者の増加が見られた。入場料金の廃止を検討すべきである。また今後新体育館や市民の広場も利用して「越前モノづくりフェスタ」や「食の感謝祭」などを同時開催するなど柔軟な企画を希望する。

[理事者答弁] 今後料金体系や会場レイアウトの見直しなどを実行委員会で十分に協議し、来場者の増加につなげていく。

なぜ建設急ぐ？中ホール跡地の施設

文化センター中ホール跡地利用に関してはプロポーザルにより業者が決まった。

8月の市民の広場の完成に合わせて中ホール跡に施設を建設するようであるが、市民の意見を入れることなく進められることに不安を感じる。中央図書館の



介護予防の視察《教育厚生委員会》(大分県竹田市)

休憩スペースが狭いことから文化ゾーンとしての施設は必要だと思うが、拙速に事を進めることなく様々な年代の意見を取り入れることを提案した。市民が利用しやすい、何度も足を運びたいような魅力的なスペースであって欲しい。市民のだれもが自慢できるような施設を希望する。

[理事者答弁] 図書館利用者にも気軽に利用いただける施設になると考えている。また同時期完成を目指すことが公園利用者の視点に立った対応であると考えている。

学童保育料にも支援を検討すべき!!

低所得のひとり親家庭等では経済的な面から学童保育に預けられない家庭もある。

市民税非課税世帯では保育園での保育料は無料であるが、小学校入学後に学童保育に預けると月約7000円、夏休みには1万円以上必要になる。学童保育に預けられず低学年の子どもを自宅に残して働くことに不安を持つ親もいる。そのような家庭への支援は考えられないか。

[理事者答弁] 今後実態を把握して対応を検討していく。

県内の小学校でエアコン未設置の市は越前市だけ!!

小学校普通教室へのエアコン設置を早急に検討すべきである。

地球温暖化の影響で5月から35度を超えるような猛暑日があり、熱中症対策が必要な日々が続く昨今である。中学校では既に全教室にエアコンが設置済みであるが、小学校への設置は先送りになっている。市長は「スポーツに関しては市長部局で予算付けも考えるが、学校関係は教育委員会の裁量に任せる」と常に回答している。だからなのかサッカー場には予



算がすぐついた。設置費用には約4億円かかるようであるが「学校施設環境改善交付金」を利用することにより上限2億円までは交付金を充てることも可能である。

[理事者答弁] 市の教育施設全体についての重要度、緊急度や財政状況等を総合的に勘案しながら検討していく。

介護予防事業の充実で介護給付費が約2億円減額に!

越前市が積極的に取り組んでいる介護予防事業の効果が数字で見えてきた。

越前市では介護予防事業として、つどいの開催に支援を行っている、現在190を超えるつどいが開かれていることで、数字での効果が出てきている。全国右肩上がりで増加している要介護認定率が越前市では右肩下がりになってきている。平成26年度より平成28年度は0.54%減少しているが、金額にするとどのくらいになるか。

[理事者答弁] 0.54%減少を数字にすると124人の要介護認定者が減少したことになる。一人当たりの年間給付費が約165万円であることから、介護給付費の減額は約2億円になる。

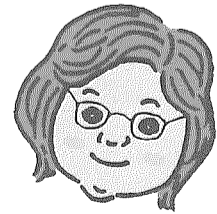
あんりゅうコラム

なぜ、議会に女性が必要なのか？

10年を超えた年月、議員として活動する中で、自分が女性であることを意識したことはなかった。他の議員たちと全く同じ目線で同じ立場でものを見、発言してきた。一度も女性だからと差別されたことも、特別扱いされたこともない。それは越前市議会だからなのか。越前市議会は「越前市議会基本条例」を県内他市に先駆け制定し「議会活性化特別委員会」を中心に積極的に議会改革に取り組んできた。その結果、今年度「早大マニフェスト研究所」の実施した議会改革度調査では全国813市区の中で、越前市議会は23位であることが公表され高い評価を得た。そして、わが議会はさらなる改革を進めている。

しかし、日々の生活の中で、妻として、母として、祖母として

子育てをし、孫守りをし、親の介護をすることで見えてくるものがある。友人たちの会話の中から見えてくるものがある。また女性の感性から感じ取れるものもある。そのことで、これまで女性議員としていくつもの政策立案をすることができたと考えている。だから女性議員は必要だと思う。国際的に見て、日本は政策形成の場に女性が極端に少ないと言われる。国会議員においては0.09%で世界193か国中159位である。越前市でも22人の議員の中で2人、0.09%でしかない。女性であればいいわけではないが、やはり同じように政策立案ができる同僚が増えればと思うこの頃である。



様式第4号（第5関係）

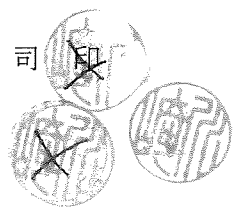
活動結果報告書

平成30年3月31日

越前市議会

議長 前田 一博 殿

議員氏名 川崎 悟 司



下記のとおり報告します。

日 程 平成30年2月

活動先 政新会だより（vol.10）の印刷・折り込み

活動目的 議会の活動内容を市民に報告するため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

印刷業者：府中美術印刷

支払金額：117,974 円

折込業者：福井新聞折りこみセンター、福井広報センター

支払金額：55,860 円

配布先：市内各所

印刷部数：25,600 部、別添のとおり

市議会報告 vol.10

政新会だより

発行
越前市議会
政新会

議員 川崎 悟司 2面
安立 里美 3面
城戸 茂夫 4面

私たちは会派「政新会」を結成し
将来 子どもたちが明るく
心豊かな未来を築けるよう
市民の代表として頑張ります

将来に夢のある越前市を！



子どもや友だちに
『帰っておいで』といえるまちに…

参議院議員会館にて

これからの10年後20年後、「若い世代が夢を持って活躍できるまちの実現に向けて」、2月の本会議にて3議員が連携して質問します。

予算質疑・一般質問26日より

安立里美

「安心して子育て出来る越前市をめざして」

- 医療問題から、予防注射に関して
- 子育て支援センターのあり方について

川崎悟司

「市役所の組織体制充実について」

- 大量退職期が過ぎた今後の対応と職員研修について
- 新庁舎完成後の機構改革について

城戸茂夫

「水道事業の今後について」

- 人口減少により収支が悪化すれば老朽施設更新は難しい
- 水道事業の広域的な連携の必要性について

政新会 第3回議会報告会を開催



「将来に夢のある越前市を」をテーマに政新会第3回議会報告会が、2月12日に武生商工会館4階で開催された。1部では滝波参議院議員による講演、2部では12月本会議の議会報告が行われた。56豪雪以来37年ぶりの大雪の中100名を超える参加があり、参加された皆さんからは貴重な意見・質問等をいただくなど、盛況のうちに終了した。

第1部 将来に夢のある越前市を (13:30～14:10)

講師：参議院議員 **滝波宏文氏**

大いなる「いなか」シリコンバレーはサンフランシスコ郊外に位置し、ヤフー、グーグル、アップルなど世界的に有名なIT企業があるが、まちの人口は5万人～10万人規模。
越前市からも、地方から世界市場視点で技術を発掘し企業が育ち、創造的で高レベルな雇用を生むマーケットを作っていくと、人口減少にも歯止めがかかり、将来に夢が広がる！

第2部 市議会報告会 (14:15～15:00)

12月本会議での各議員の質問・答弁から、今の越前市の課題について、ご出席の皆様と一緒に考えていきたいと思います。

代表質問 **城戸茂夫**
12月4日

- 通年型予算編成の長所と短所
- 行政改革（組織体制について）

一般質問 **安立里美**
12月7日

- 安心して学べる学校をめざして
- 市民が利用しやすい施設とは

一般質問 **川崎悟司**
12月8日

- 並行在来線と福井鉄道福武線
- 中心市街地と南越駅周辺整備

各議員の質問の詳細は市議会ホームページをご覧ください。なお、この政新会だよりは政務活動費で作成しています。

川崎 さとし

12月議会 一般質問

福井鉄道福武線の負担割合は

3市の負担割合を示し、県と他2市との協議を進めるべきと考える。加えて、並行在来線が第3セクター化されることにより福武線の今後の形態にも大きく関わってくることになる。中心市街地の活性化でも大きな意味を持ち、将来のまちづくりの上でも重要な意味を持っている。利用客数は200万人を達成し、更なる上積みをするとなると、周辺の町の利用促進も視野に入れなければならない。次の支援期間の中で収支均衡に向け、行政と福井鉄道が協力して取り組んでいくことが大切である。

【理事者】 支援期間は5年となり、約7億5千万円となり、越前市28.7%、福井市38.9%、鯖江市32.4%となる。本市は年間1億5千万円支援することになる。

第3セクター化後の新駅設置について

北陸新幹線が開業となる平成35年には今のJR北陸線が第3セクター化される。全国の先行事例を見ると運営は苦戦して



北日野地区体育祭にて

いる現状であり、平成33年には経営計画を策定する中で、資本金の出資や経営安定基金への拠出などかなりの額の負担も予想される。利便性の向上という点で新駅の設置の要望も出されているが、本市の負担額はいくらになるのか。

【理事者】 駅舎とホーム、自由通路などを整備して約8億円。国の幹線鉄道活性化事業を活用し、国1/3補助、地方公共団体は国と同額以上の負担、残りを3セク会社が負担することになる。

来春からの道德教育について

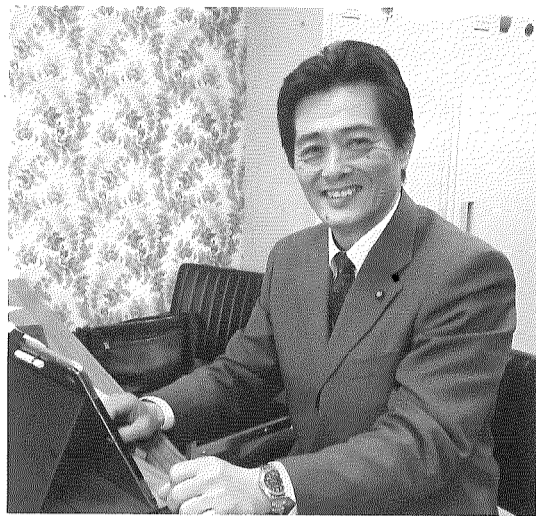
小学校が来春4月、中学校が31年4月から、特別の教科として位置づけられる。子供一人ひとりが、幸せになることを前提として、様々な能力を見つけ、それを伸ばすことが必要となっている。大切な命を尊び、自身が生きている意味、存在価値を理解し、家族、友人、地域を愛し、豊かな人間性を備えることが重要である。新たな取り組みによる期待と効果について、お聞きする。

【理事者】 各自の評価は、文章による記述式であり、他者との比較によるものではなく、“認め、励ます”個人評価となる。将来様々な状況に応じて主体的な判断に基づき行動できるよう道德教育の充実を図っていく。

9月議会 一般質問

福武線の支援について

6月議会において利用者数や線路の延長・駅数などを勘案し、本市の負担割合は17%程度が妥当との考えを示した。再構築事業の延長を断念したとの説明を受けたが、自立できるような状況にはないと言える。県に対し相応の負担や新たな利便性向上策。5年後においては福鯖線



という考えも出てくる。市民の足としての役割が大切なのは言うまでもないが、限られた財源の中での適切な負担金額はどうか。新幹線開業を見据えた議論が重要であり、他の公共交通機関を含めしっかり議論してほしい。

【理事者】 「完全上下分離」となると今以上の負担となり、申請を断念した。並行在来線の第3セクター化を見据え支援期間を5年とした。今後も県をはじめ、沿線市、並行在来線対策協議会等で議論を重ねていく。

福井国体開催について

開催に向けての多くの市民が思いを一つにして参加し、携わる意識（おもてなし）の高まりや、準備や運営に関する様々な課題や市民ボランティアの役割や活動内容。開催を契機としたスポーツの推進と健康増進、観光等への波及効果など一過性のもので終わるのではなく、心に残る素晴らしい取り組みを期待するものである。

【理事者】 小・中学校では国体ダンスを授業に取り入れ機運を高めているところであり、実行委員会を中心に県と緊密な連携を図りながら、市民の協働と参画によって成功に向けて開催していきたい。

さとしコラム

広域高次都市機能とは

これまでに整備された新幹線の駅でも、利用者が伸びずに閑散とした状況のところもあると聞く。開業時での課題でもある「ストロー現象」や中心市街地と駅ナカや駅周辺に進出した企業との間で起きる人口や購買力の奪い合いの可能性や、新設駅ということで在来線との乗り継ぎが不便という点など課題があると言える。現在、市は50万人圏を想定した広域高次都市機能ということで、民間事業者の進出を期待しているが、これには国・県をはじめ近隣市町との協議が不可欠であり、クリアしなければならない課題が多くある。

列車ダイヤについては、JR西日本が決定することとなるが、ひかりタイプの「かがやき」は停車せず、こだまタイプ「はくたか」、「つるぎ」だけと想定され、上下合わせて65本程度が停車すると考えられている。利用者については、2023年には2千人を見込んでいようである。駅舎のデザインが3案示されているが、外観だけではなく、将来に展望が拓かれるような中身の伴ったものになることを望むものである。

公共交通の課題

越前市の公共交通への負担は平成28年度決算ベースで、市民バスの運行委託が5,826万円、路線バスの運行補助金が3,796万円、福武線への支援が3,880万円、合計で1億3,500万円を超えている。今後も増加していくものと考えられる。

免許返納者や高校生の通学といった交通弱者への支援など、どこまでの負担が適切なのか、可能なのかという議論は重要である。5年後には、JR北陸本線が並行在来線として第3セクター化されることによる新たな費用負担が生じることとなる。

人口減少、少子高齢化の進展、非正規雇用の増加など取り巻く環境は厳しさを増すことから、一層の行財政の改革へ覚悟をもって取り組まなければならない。

安立さとみ

いつまでも大切にしたい 「だるまちゃん広場」に!! 9月議会

8月11日に市民に開放された「だるまちゃん広場」は毎日たくさんのお子どもたちが楽しんでいる。多くの方が入ること、ごみや忘れ物が多い。またペットを連れて広場の芝生や水遊び場に入っている方がいる。愛犬家にとってペットは子どもと同じだと思うが、排泄問題だけでなく、アレルギー被害のこともあり「エンゼルランドふくい」では敷地内へのペ



エンゼルランドふくいの看板

ットは禁止になっているとのことである。越前市でも対処すべきではないか。また自転車で広場内を走り回っている若者もいる。子どもたちが安心して遊べる広場とするためには、今後、広場の管理は市直営にして管理人を常駐すべきである。

[理事者] ペット持ち込みに関しては他市の状況を見て検討する。管理に関しては30年度までは武生森林組合が行う予定

である。それ以降は、利用状況及び管理状況を見極めて対応する。

中央公園のコーヒーショップに ドライブスルーは必要ですか？

だるまちゃん広場前の駐車場にコーヒーショップの建設が決まった。若い年代層の方々が公園を訪れるようになることは嬉しいことだ。しかし、ドライブスルーを作る計画があるとのことである。

公園に立ち寄りことなくコーヒーを買っていく方が増えると同時に、駐車場内を通過する車が増える。だるまちゃん広場にきた子どもたちは嬉しさのあまり、駐車場から広場に駆け出すことは間違いない。そのうえ見通しが悪くなることで、事故が起きる可能性は十分ある。事故が起きてから対処するのではなく、ぜひ越前市としてしっかりとした考えを出すべきである。

[理事者] スムーズな動線確保が可能になる。またドライブスルー利用者を誘導する演出が可能になり、市街地活性化が図れると説明を受けた。十分な安全確保の検討と指導を行う。

(疑問) 何が一番大事なのかを、今考えなければいけないと思います。民間業者の利益？市街地活性化？やはり子どもの安全を守ることが第一でしょう。子どものための公園なのですから!!



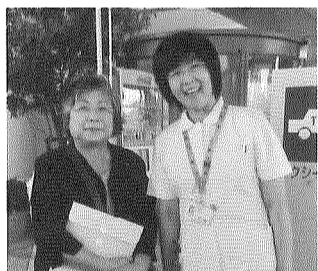
安心して学べる学校の体制づくりを!

これからの学校は、様々な立場のメンバーが集まる「チーム学校」の体制づくりが求められる。また連携だけでなく学校内に子ども自身が相談できる体制も必要である。各学校には相談室が設置されているが、いつでも相談できる体制にはなっていない。相談室に相談員が常駐し、スクールカウンセラーと連携を取りながら様々な事例に対応することが必要である。そのためには相談員の確保とスクールカウンセラーの滞在時間の延長が必要ではないか。

[理事者] 校内のみでなくスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、警察や児童相談所、医療機関など外部機関とも連携を取りながら、子どもの立場に立った対応を進める。

議会活動に生かされる行政視察

愛知県春日井市民病院 退院する患者が望む生活を実現できるよう病院が全力で支援する体制が作られている。8名の退院調整看護師が病棟に配置され、患者が望む生活を実現する方法を一緒に考えている。また地域の多職種間で情報を共有する「春日井さくらネットワーク」を運用し、病院と地域が顔の見える連携体制を作っている。



市民病院の看護師長と

滋賀県野洲市 全国で初めて「くらし支え合い条例」を制定し、消費者政策や生活困窮者等の支援について画期的な取り組みをしている。

特に多重債務者に関しては、10年前から多重債務者包括支援プロジェクトを実施し、滞納を市民のSOSととらえ、それぞれの滞納の理由を市民生活課で調査し、関係各課とつなぐことで無理のない状態で滞納を解決している。

「滞納は生活状況のシグナルとして連携を取っています」の説明に考えさせられた。弁護士と共に過払い金の請求を行い滞納分の支払いに充て、27年度では3,089万6千円もあったとのこと。

あんりゅう コラム

トイレの整備でまちの活性化を!

今、トイレを充実することが暮らしやすい空間づくりにつながるとされています。例えば、残念なトイレの店にはどんなにおいしい食事を出す店でも足が遠のきます。特に女性には重要です。

内閣官房の「すべての女性が輝く社会づくり推進室」では、女性が暮らしやすい社会を作ることは、男性も、高齢者も、障害を持つ人も、だれもが暮らしやすくそして活躍できる、社会づくりへとつながっていく、としています。その中での「暮らしやすい空間づくり」へと転換するには「トイレ」が欠かせないとのこと、[ジャパン・トイレ・チャレンジ]を実施しています。その一環として「日本トイレ大賞」を設けていますが、上位の施設は顧客満足

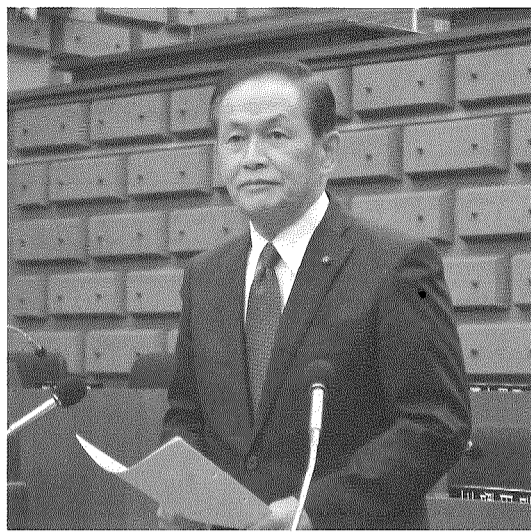
度でも上位を占めている結果が出ています。

越前市も「だるまちゃん公園」が完成し、たくさんの親子連れでにぎわいました。しかし、どんなに素晴らしい公園を作ったと自負しても、トイレにっかりしたとの情報が流れることは避けられません。現在、中央公園には子ども対応のトイレは設置されていません。早急に子ども対応のトイレを設置すべきです。子どもが利用しやすい、安全で快適なトイレの設置をすることで、日本一の子どものため公園になると思います。さらに中央公園だけでなく公共施設のトイレを快適なトイレにすることは、まちづくりにもつながると考えます。



城戸茂夫

12月議会 代表質問



通年型予算編成の長所と短所について

通年型の予算編成は1年間の必要経費をすべて見込み、補正予算は国の制度変更などに限定する為に予算自体の弾力性を失う心配がある。最終予算額と決算額の大幅な乖離と歳出予算の執行率の低さはその短所ではないか（平成28年度の当初予算と最終予算との差は27億円、予算執行率89.8%、不用額18億円）。また、税収の10%強の実質収支額を翌年度へ繰越している。大切な予算を（限りある財源を）可能な限り執行率100%を目標に市民福祉の向上に使うのが市の使命ではないか。補正予算は認めないという方針では、各部局の要求が過大になり、それが不用額の多さにつながっているのではないか。

市長 年間を通した全体の予算の姿を示すことで、議会及び市民に対して、市の取組みの全体像を見せること。予算が確保されていることで、年間を通した計画的・効率的な事業の執行が図られ、速やかな行政サービスの提供が可能となる。

補正予算をもっと提案し、予算に関する議論を充分に行う環境を作るべき

3月本会議の1週間前に分厚い通年型の年間予算書、各種計画書・プランが一挙に提案されると、3月議会でのウエイトが過大になり審議や議論が時間的にも十分でない。定例会は3月、6月、9月、12月と年4回開催されるので、以前のように補正予算にも気を配り、もっと議会に提案すべきでは。執行中の事業に対しても、時期や機会を捉えた議会での議論や

予算審議を通した議会の意見が反映されにくい心配がある。議員には議会審議を通した説明責任を果たしていく責務がある。

市長 年度途中に行政サービスの低下を招かないよう重要度や緊急度を判断し、適切に対応していく。今後も、多額の不用額が生じないように、当初予算編成で事業費を精査するとともに、年度途中の執行状況の把握にさらに努める。

行財政構造改革について (組織のあり方)

行政改革による組織や機能の改革を進めることの重要性について

本年3月に策定された行財政構造改革プログラムⅣにおいて、「組織・機構の見直し」を掲げ、スリムで柔軟な組織・人員体制に転換するとしているが、具体的な取り組みと越前市の人口規模、予算規模での適正な職員数はどれくらいと考えているか。

住民の福祉の増進に最小の経費で最大の効果をあげるよう、職員の意識改革、組織及び運営の合理化に努めていく。適正な職員数は市の産業構造や重点施策など実状に応じて判断して行くが、目標値を「600人以下を維持」としている。

職員の大量退職が続いた結果、年齢構成と平準化は？

団塊の世代の定年退職がピークを越え、社会人枠の確保で幅広い年齢層を採用した結果、職員の平均年齢も毎年下がり続け、

過去5年間で3歳若返り、現在41.4歳と適正な年齢バランスが形成されつつあり、更なる年齢の平準化を図っていく。

管理職員の削減目標と職制、職責についてどう見直すのか。

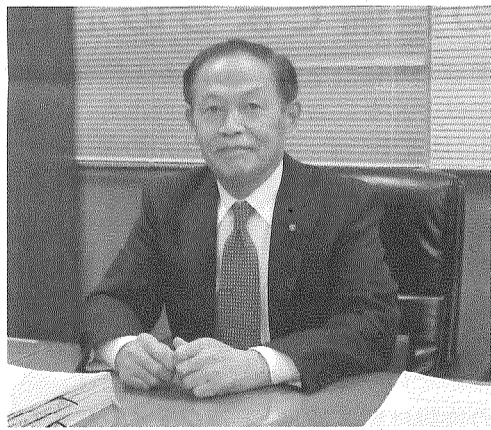
部長職の審議監、各部局の理事職、統括理事までいるが組織体制としての考え方は。議会答弁でも理事が行っているが担当者に過ぎないのでは。部長と理事の役割分担は。また、職員の年齢構成の平準化がされていく中、管理職員という役職の種類、その数について削減していく考えはないか。

管理職員数については、簡素で効率的な行政運営を推し進めるため、スリムで機能的な組織体制の構築を目指してきた結果、平成24年度に174名であった管理職員の数は、本年度当初には136名と5年間で38名の減少となっている。一方、大量退職を踏まえた採用を行った結果、入庁10年までの経験の浅い若手職員が200名を超える状況にあり、組織運営上、当面は一定数の管理職の配置は必要であると考えている。

きどコラム

外国人児童生徒の増加と「共生」の観点や異文化交流の視点 (教育委員会への代表質問から)

越前市の日系ブラジル人児童・生徒の転入は地元企業の雇用増加で200人を数える状況であり、教育現場の実態に大きな変化が生じている。もとより、外国と日本の教育システムは大きく異なっており、教育文化も違う。外国の子どもが片言の日本語を話せるようになって、授業を理解することはむずかしい。教職員の努力には限りがあり、学校や教育委員会だけで解決できる問題ではない。外国人児童生徒には市内の中学校を卒業後、高校入試で「日本語」の高いハードルがある。母国に帰る子どもと日本で暮らしていく子どもはここで大きな選択をせまられる。言葉の壁は外国人児童生徒たちがどちらに進むにし



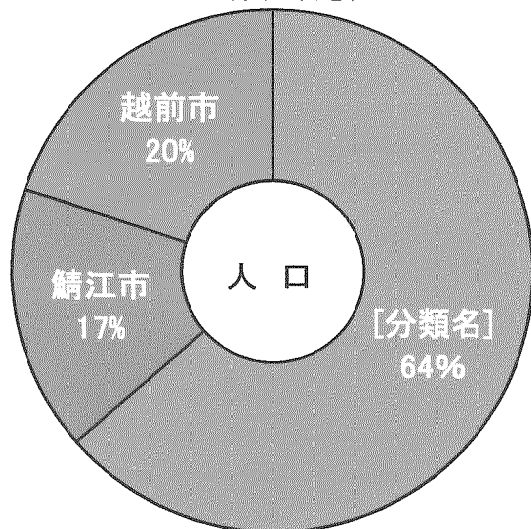
ても、キャリアを積んでいく過程で「大きな壁」となる。

「共生」や「異文化交流」を謳い、学校任せにするのではなく、子どもたちへの直接的な支援や子どもの教育を支える保護者への支援など、真剣に議論していくべきだ。「越前村田アカデミー (仮称)」を立ち上げるなど、市と企業の協力体制の中で長期的な支援が必要である。

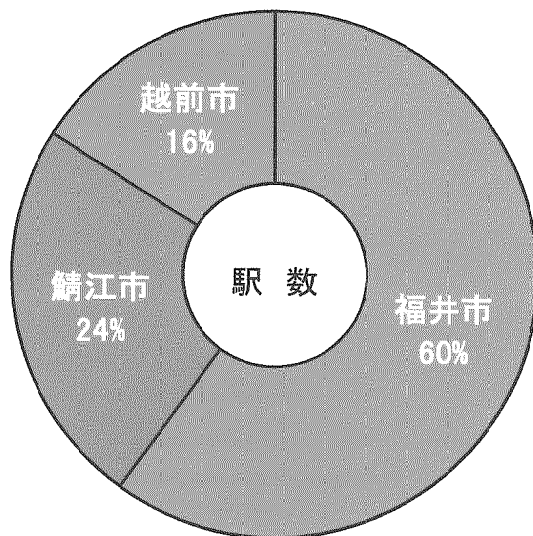
教育長は答弁で「子どもが転入後、学校に通うまで言葉や生活習慣の習得ができる「教室」や「学びの場」等、子どもたちが安心して学校で教育を受けるため、企業の窓口である市長部局と連携していく」と述べた。

人口

(外国人含む)

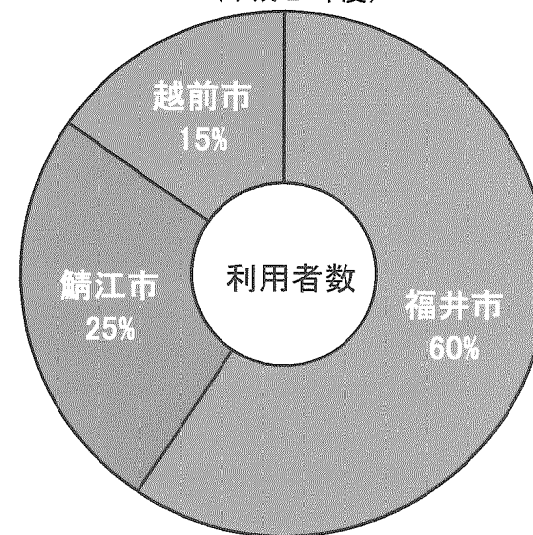


駅数

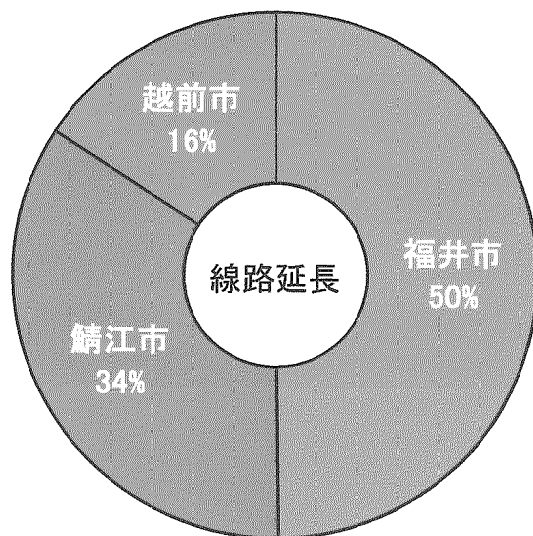


利用者数

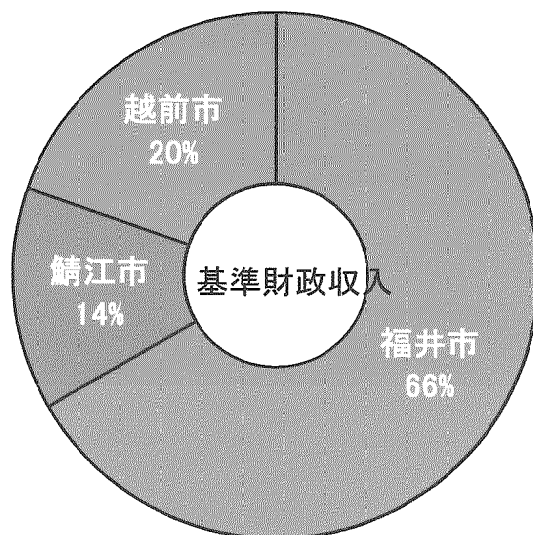
(平成 27年度)



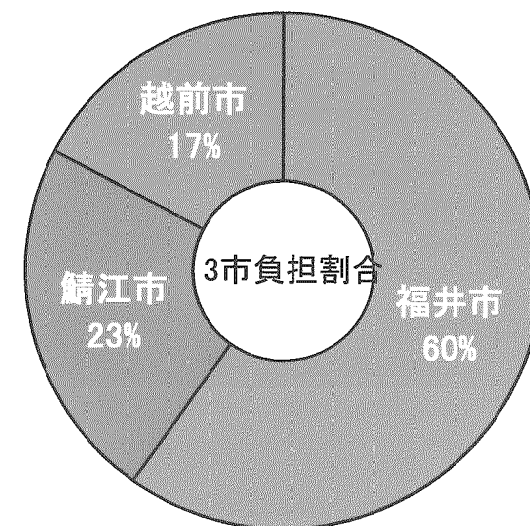
線路延長



基本財政収入



3市負担割合



	単位	福井市	鯖江市	越前市	合計
人口(外国人含む)(平成28年4月)	人	265,521	69,095	83,366	417,982

	単位	福井市	鯖江市	越前市	合計
駅数(H27年度)	駅	15	6	4	25

H22スポーツ公園(越前市)、H23清明、泰澄の里(福井市)開業

	単位	福井市	鯖江市	越前市	合計
利用者数(平成27年度)	人	1,177,151	503,203	303,325	1,983,679

	単位	福井市	鯖江市	越前市	合計
線路延長(平成27年度)	Km	10.7	7.4	3.4	22

駅前線を143m延伸

	単位	福井市	鯖江市	越前市	合計
基準財政収入額(平成27年度決算)	千円	35,230,384	7,275,058	10,405,254	52,910,696

	単位	福井市	鯖江市	越前市
人口(外国人含む)	人	64%	17%	20%
駅数	駅	60%	24%	16%
利用者数(平成27年度)	人	59%	25%	15%
線路延長	Km	50%	34%	16%
基準財政収入額(平成27年度決算)	千円	67%	14%	20%

3市負担割合	単位	福井市	鯖江市	越前市
		60%	23%	17%

	単位	福井市	鯖江市	越前市	合計
基準財政需要額(平成27年度決算)	千円	41,886,491	11,012,392	14,936,308	67,835,191

4-2
4-3
4-4
4-5


様式第4号 (第5関係)

活動結果報告書

30年2月12日

越前市議会

議長 前田 一博 殿

議員氏名 川崎 悟司 

下記のとおり報告します。

日 程 30年1月12日(月曜日)～ 月 日(曜日)

活動先 武生商工会議所4階パレットホール
活動目的 議会報告会(市民と語る会)

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

1部 荒波宏文参議院議員より「将来に夢のある越前市のために」をテーマに基調講演を頂いた。地方から人口(若者)物、お金の郡会へ流れ続けているが、地方の魅力を再発掘し自立する政郷をつくらなければならない。アメリカのシリコンバレーの例を挙げ、参加者は地域創造の思いを新たにしてくれた。この部では、3人から12月議会を中心にこれまでの活動、質問等の報告を行った。参加者からは、様々な意見がたどり課題解決に向けての確認の場となった。

大勢の中、100名程度の参加があり、市政の発展に対する熱い思いを感じた。これからの会務として、一議員として、共に考え、共に歩む重要性を感じた。

3人と語ろう！これからの越前市

議会報告会

2月12日(月) 午後1時30分 武生商工会館 4階パレットホール

越前市議会

政新会

安立 里美

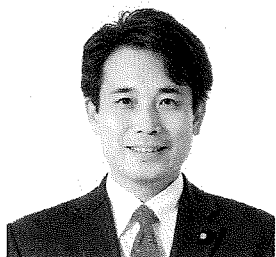
川崎 悟司

城戸 茂夫

第一部 (13:30~14:10)

将来に夢のある越前市のために

講師 参議院議員 元財務省機構業務室長



滝波 宏文 氏

くに 郷の即戦力 くに 国の即戦力

人口が流出し、民間経済活動も都会中心となり、地方の想いが届かない「地方難」の今、福井の声を中央に的確に伝え、「福井を、取り戻す。」

第二部 (14:15~15:00)

市議会報告会

12月本会議での各議員の質問・答弁から
今の越前市の課題をみなさまと再確認！

- | | | |
|-------|------|-----------------|
| 代表質問 | 城戸茂夫 | ■通年型予算編成の長所と短所 |
| 12月4日 | | ■行政改革（組織体制について） |
| 一般質問 | 安立里美 | ■安心して学べる学校をめざして |
| 12月7日 | | ■市民が利用しやすい施設とは |
| 一般質問 | 川崎悟司 | ■並行在来線と福井鉄道福武線 |
| 12月8日 | | ■中心市街地と南越駅周辺整備 |

皆様のご意見やご質問にできる限りお答えいたします。ご来場を心よりお待ちしております。